



新発田市立紫雲寺小学校

# 学校だより

2月1日号

<http://shiunjies.shibata.ed.jp>

外は雪、内はぽかぽか

校長 土田 志津子

「さあ、今月もやって参りましたハッピーイベント。でも、でも、でも、最後です。だからみなさん、盛り上がっていきましょう。今月のテーマは、『みんなでノリノリ、歌に合わせて、おどり祭り。大感謝祭。』です。」

と、6年生の運営委員会のかけ声から始まった第3回ハッピーイベント。以前の便りでも紹介しましたが、回を重ねる毎に出演者が増え、演じる内容もバラエティになってきています。もちろん、一目見ようとするファン（見学者）も増えています。



全校遠足、文化祭と大きな学校行事が終わった10月中旬に、【地域での子どもかぐら：「ろくべい」】6年生が、全校の子どもたちのために何か自分たちでできることはないかと考えたのが、「ハッピーイベント」でした。日程から出演募集まで、すべて自分たちで楽しんで行ってきました。

1回目は10月に行われ、出演者は6年生のみでした。2回目は、4年生女子が出演デビューし、今回は、2年生から6年生までの有志の子どもたちが出演しています。内容も、2年生「日本舞踊」（当日都合により出演できませんでした。）、3年生「長縄二人飛び」、4年生「ゲット・モーニング・マイ・ドリーム・ダンス」、5、6年生「神楽舞ろくべい」、6年生「妖怪ウツ体操」「ダンス」「曲に合わせて長縄飛び」「8.6秒 バズーカ レッスンゴレイ」・・・と、子どもたちの表現力には、驚かされます。今回2回目の出演となった4年生女子に感想を聞いたら、口を揃えて「楽しかった。」でした。踊り方も、自分たちのオリジナルを入れたり前後のメンバーの踊り方を変えたりと、工夫した話も聞かせてくれました。6年生の「8.6秒・・・」は、私には理解できなく、演じた子に尋ねたら「Uチューブ」で覚えたということでした。近くにいた6年生の子どもたちもみんな知っていました。・・・知らないのは、どうも私だけだったようです。こういう中であって、地域の伝統「神楽舞」を演じた子どももいるという「内容の“豊かさ”」に脱帽です。

何より、子どもたちが、自分たちの意志で創っているイベントということが素晴らしい。

「鬼は外、福は内!!」 もうすぐ節分。校舎の中には、すでに福がいっぱいです。



【4年生有志のダンス：「ゲット・モーニング・マイ・ドリーム」】



【第1ホールは、大勢の子どもたちでいっぱい】



# インフルエンザ流行中！！

養護教諭 皆川 俊

インフルエンザの流行が続いています。今週月曜日の段階で、県内の保育園～高校で約5,500人、新発田市内では200人を超える子どもたちがインフルエンザにかかっています。紫雲寺地区はまだ大流行に至っていませんが、油断せず、予防に努めましょう。

## インフルエンザ予防で大事なものは、

### ○ウイルスの侵入を防ぐ

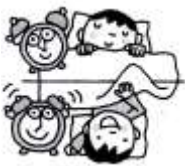
手洗い・うがい、マスクの着用、手指の消毒など

### ○ウイルスに近づかない

部屋の換気、患者に近づかない、人混みを避けるなど

### ○ウイルスに負けない抵抗力をつける

体を冷やさない、十分な休養・睡眠をとる、  
バランスの良い食事、水分補給など



また、急な発熱・のどや関節の痛み等の症状が現れた場合は、早めに受診しましょう。インフルエンザは学校伝染病のひとつで、出席停止となります。インフルエンザと診断されたら、学校へ連絡をお願いいたします。



# 縄跳び運動月間・・・上達しました！！

体育部 千代 香苗

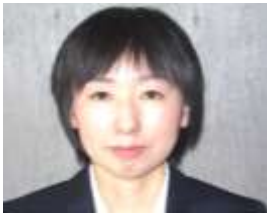
1月13日から28日までの期間、縄跳び運動に力を入れて取り組んできました。

友達と一緒に、業間練習を毎日頑張って行う子どもの姿が多く見られました。近づいて会話を聞いてみると、「もっと早く縄を回すといいよ。」「そうそう、その調子。」「どうやって、やっているの。」など、友達と励まし合ったり教え合ったりしながら、ともに技能を向上させようとしていました。協力している姿に感動です。友達の言葉や粘り強い練習によって、できる技が増えてきた子どももいます。

また、昼休み時間にも、進んで縄跳びを練習している子どもたちの姿がありました。さらに、先日行われた「ハッピーイベント」では、難しい技の縄跳びを披露した子どもたちもいました。こうして楽しく縄跳びを続けることで、冬場の体力向上にもつながっています。

記録会は、体育の時間に各学年で行う予定です。楽しく友達と関わり合いながら、自分の記録や力を伸ばしていけるようにしていきたいです。





## お気に入りの本

佐藤 妙子

11月の読書月間中に「お気に入りの本」という、本の紹介カードを全校児童がかいて掲示する活動がありました。そこで私もお気に入りの本を紹介しようと思います。

紹介する本は、「ムーミン谷の11月（トーベ＝ヤンソン作）」です。ムーミンといえば、作者のトーベ＝ヤンソンの生誕100年ということで、展覧会が開かれたり、アニメ映画の新作が作られたり、グッズが人気だったりと、最近とても盛り上がっているようです。

この本を読んだのは2013年の1月頃です。当時勤務していた学校の図書室にありました。ムーミンといえばアニメで（声は高山みなみではなく、岸田今日子の時代です）親しんではいましたが、本を読んだことはなかったので手にとってみました。低学年向けでほぼひらがなでしたが、ハードカバーですてきな装丁の本でした。どんな内容なのかと思い、「解説」のページを読んでみました。たしか、「この本は大人の読者に向けて書いた」というようなことが書かれていたと思います。それで読んでみようと思いました。

このお話は、ムーミンシリーズの最後で、ムーミン一家はムーミン谷を留守にしているので登場しません。ムーミン一家に会いに来たお客達が5人とスナフキンの6人が登場します。けんかしたり仲直りをしたり、世話を焼いたり焼かれたりしながら、めいめいが好き勝手に留守中のムーミン屋敷ですごして、また帰って行くという話です。

図書室にあった本はひらがなが多くて大人には少し読みにくかったので、書店で文庫本を買って読み直しました。結局3回ぐらい読んだと思います。何回も読まないとよくわからなかったとか、結局今もよくわかりませんが、「この登場人物は、なぜこう考えたのかなあ。」などと考えながら繰り返し読みたくなる本になりました。



### エッセー・コーナー

このページは、毎月、学校教職員のエッセーを掲載します。紫雲寺小学校に勤めているわたし達の素顔の一部を知っていただき、学校と保護者、地域の皆さまとの距離を近づけたいと考えました。「同感!」、「新発見!」など気軽に声をかけていただき、話が弾むことを期待しています。



# 2月の予定

※下校時刻（予定）を載せました。子どもたちの交通安全等で声を掛けていただくとありがたいです。

日	曜	予 定	下校（終了）時刻	
1	日			
2	月	フッ素洗口 干拓太鼓練習	1～3年 15:05	4～6年 15:50
3	火	全校朝会	1～3年 15:05	4～6年 15:50
4	水	ALT(2, 6, 5年) 3年生校外学習 避難訓練	1, 2年 15:05	3～6年 15:50
5	木	ボランティア 読み聞かせ(3年) 干拓太鼓練習	1年 14:45	2～6年 15:30
6	金	ALT(4, 6, 5年) 委員会活動	1～4年 15:05	5, 6年 15:55
7	土			
8	日			
9	月	フッ素洗口 干拓太鼓練習 口座振替日	1～3年 15:05	4～6年 15:50
10	火	児童朝会	1～3年 15:05	4～6年 15:50
11	水			
12	木	ボランティア 読み聞かせ(4年) 干拓太鼓練習	1年 14:45	2～6年 15:30
13	金	新1年生保護者説明会 PTA 広報部会	全学年 15:05	
14	土			
15	日			
16	月	フッ素洗口	全学年 15:05	
17	火	1年生保育園児との交流会	1～3年 15:05	4～6年 15:50
18	水	ALT(3, 6, 5年) 学校評議員会	1, 2年 15:05	3～6年 15:50
19	木	ボランティア 読み聞かせ(5年) ファミプレ 干拓太鼓練習	1年 14:45	2～6年 15:30
20	金	委員会活動〈最終〉	1～4年 15:05	5, 6年 15:55
21	土			
22	日			
23	月	フッ素洗口	全学年 15:05	
24	火		1～3年 15:05	4～6年 15:50
25	水	ALT(4, 6, 5年) PTA 三役会・専門部会 18:30～	1, 2年 15:05	3～6年 15:50
26	木	ボランティア 読み聞かせ(6年)	1年 14:45	2～6年 15:30
27	金	六送会(参観日、懇談会なし) PTA 評議員会 16:00～	全学年 15:50	
28	土			

6年生  
ありがとう  
がとう週間

※ 学級終会等で上記の時刻より多少遅れることがあります。

## 学校と家庭・地域をつなぐ

## 「冷たく寒いけど温かい」～「小正月行事」鳥追い、馬、みそぎ・・・～

昨年(2023年)の12月の雪の勢いに比べると、暖冬を思わせるようなこの頃です。私の田舎は、上越市の「桑取」というところですが、子どもの頃は今よりももっと雪が降ったように思います。雪で作った階段を下りて家に入ったり、積もった雪から屋根に登ることができたり・・・。

1月には、小正月行事と言われるものもたくさんありました。「鳥追い」「馬」「みそぎ」「さいのかみ」「地藏様参り」などです。どれも寒かったはずなのに、とても楽しくあたたかな思い出です。行事の後は公認の「夜遊び」ができるのです。特に「みそぎ」は強烈な思い出です。確か1月5日の夜、水着姿(昔は裸だったそうです)になり、神社の隣の川に入ります。それはもう「ギャーギャーワーワー」でした。そして裸足のまま雪の上を走って神社に駆け込み、お参りをします。それを何回も繰り返すのです。ここからがお楽しみです。その夜は、子どもたちだけで神社に泊まるのです。お菓子を食べて、音楽を聞きながら、トランプや花札などの遊びやとりとめのない話を夜遅くまでしていました。外は凍てつく寒さと深い静けさ。中は囲炉裏の炎と子どもたちの笑い声。

そんな桑取の小正月行事も今はほとんどなくなってしまったようです。人々が受け継いできた伝統なものにもかかわらず、残念です。一番の原因は少子化問題のようです。地域の伝統を守り、育てるためには、学校と家庭・地域が今まで以上に力を合わせていかなければならない時代がきたのだと言えます。

(教頭 飯塚 進)

